

<成果イメージ> R6 グローバル・サポート事業 外国人児童生徒日本語教育支援事業

市町村や関係機関、外部専門機関との連携強化を図り、日本語初期指導と支援体制を充実することで、将来、経済的・社会的に自立し、本県と母国の架け橋となるグローバル人財及び地域の担い手を育成する。

帰国・外国人児童生徒連絡協議会（4月） オンライン形式

- 外国人児童生徒教育の関係者が一堂に会し、教育環境の充実に向けた検討や情報共有、協議や交流を通してネットワーク構築を行う。
- 参加者：小中高管理職、県・市町村担当者、国際交流協会等
- 講演：筑波大学 澤田浩子 准教授（予定）
- 内容：行政説明（県教育庁及び多文化共生担当部局、県国際交流協会）
支援ネットワーク構築に向けたグループ協議等

茨城県地域日本語教育の体制づくりに係る総合調整会議 国際交流・協力ネットワーク会議（県国際交流協会）

オンライン学習による日本語初期指導カリキュラム開発・検証のための基礎研究 委託先：筑波大学

オンライン学習による日本語初期指導カリキュラム開発・検証のための基礎研究

<対象校> 24校（対象生徒：55人） * 日本語指導教室非設置校

<日本語センター> 筑波大学日本語・日本文化学類 学生 40人

- ・「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」を用いたオンラインによる日本語力測定
- ・日本語指導のための履修科目設定
外国人児童生徒支援研究（1単位）+外国人児童生徒支援実習Ⅰ・Ⅱ（3単位）
- ・オンライン学習カリキュラムのデータ、DLAの結果に基づく習熟度別学習、学習ポートフォリオの共有システムの設定
- ・HPやリーフレット等で成果を発信



オンライングループ支援

日本語初期指導・キャリア教育の充実 委託先：NPOコモンズ

1. 通訳・翻訳サポートスタッフ派遣
小中・高等学校、教育委員会への派遣回（170回）
 2. 日本語指導アドバイザーの派遣
小中・高等学校等への派遣回数（397回）
 3. 電話相談（学校・教育委員会等を対象）
他言語で対応（447回）
 4. 多言語による進学ガイダンスの開催
* 高校進学を希望する外国籍生徒及び保護者等を対象
- * オンデマンド動画の配信
(日、葡、西、英、比、中、越、ウクライナ語)

<コモンズHPで動画配信>

<https://www.commons-globalcenter.org/>
活動内容/進学ガイダンス/



オンライン通訳サポート



外国人児童生徒日本語教育支援事業

○日本語指導クラスの設置

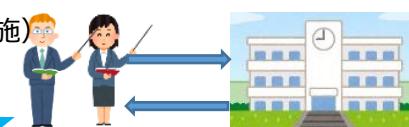
- ・習熟度に応じた日本語指導
(常総市立水海道小学校、豊岡小学校、水海道中学校、水海道西中学校)
日本人教師 8人 支援員 8人
小学校 2時間 中学校 3時間実施 ※1日最大

○ブラジル人学校との交流

- ・日本人教員と支援員の訪問による日本語授業（4回実施）

○プロジェクト会議

- ・教材作成、授業検討会（4回実施）
- ・相互授業参観（3回実施）



他地域への拡充

令和6年度 高等学校外国人生徒支援事業

茨城県教育庁学校教育部高校教育課

日本語を母語としない生徒も個々の能力を発揮できる教育体制を構築することで、
地域社会の担い手を育成します。【対象校】「重点校」：石下紫峰、結城第一 「支援校」：筑波、茎崎、江戸崎総合、坂東総合、結城第二

1 学校生活の支援体制の構築

【委託先】NPO法人

■外国人生徒支援コーディネーター等の配置

- ・外国人生徒支援コーディネーター（フルタイム3人）
- ・学校での支援活動 延べ158日513時間
- ・言語スタッフによる通訳支援
面談等による通訳等 延べ174回684時間（10言語へ対応）

■翻訳等支援

- ・生徒向け及び保護者向け文書の翻訳 延べ53件

2 学習支援のための個別支援計画の作成支援

【委託先】国立大学法人 ※重点校のみ

■日本語能力の把握

- ・日本語アセスメントテスト(DLA)の実施(年度当初、年度末)
年2回 延べ 112人(2校)

■対象校での助言・サポート

- ・個別支援計画の作成 延べ45人
- ・キャリアワークショップ 延べ20回
→先輩トーカや進路情報の調べ学習、個人面談等を実施
生徒 延べ615人参加 大学生・院生 延べ130人協力

3 言語能力に応じた習熟度別学習の実施<学習支援>

■習熟度別学習の実施に伴う非常勤講師の配置(県単)

- ・日本語能力等に応じた習熟度別学習
- ・英語が得意な生徒への発展的な学習(ハイレベル英語)

4 キャリア支援の充実・ノウハウの普及（新規）

■日本語指導支援員(専門人材)の派遣

【委託先】一般財団法人

- ・社会的自立等に向けたきめ細かな日本語指導 29クラス35コマ 実派遣数20人

■外国人生徒支援相談員(教員)の配置 ※重点校2校に各1人

- ・外国人生徒支援のノウハウの蓄積、支援校の校内体制構築の支援 年30回

■茨城県外国人材支援センター(県産業戦略部労働政策課)との連携

- ・学校とハローワーク及び市町村との調整 重点校2校
- ・外国人生徒・保護者への就職活動のガイダンス 2回

進路の実現

キャリア支援・普及（新規）

- ・日本語指導支援員の派遣
- ・外国人生徒支援相談員の配置
→ノウハウの普及
- ・茨城県外国人材支援センターとの連携
→キャリア支援強化

学習支援等

- ・日本語能力把握
(アセスメントテスト)
→個別支援計画の策定

- ・日本語能力に応じた習熟度別学習
(ハイレベル英語等)
- ・キャリア教育支援

学校生活の 支援体制の構築

- ・コーディネーター等の配置
- ・学校、関係機関等が連携したチームとしての支援
- ・校内支援体制強化

入試の拡充(石下紫峰高校、結城第一高校)

- ・外国人生徒特例枠の拡大(2人→40人)
- ・応募資格の緩和